



# 奉仕を通じて平和を 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

RI会長／田中 作次 2800地区ガバナー／和田 廣 ガバナー補佐／武田 秀則  
会長／川合 賢助 幹事／金田 亮一  
クラブ会報委員会 委員長／神崎 祐子  
委員／堀 是治 阿部 浩一 相沢そのみ 坂入 文人 浅野 裕幸

## 第1979回例会

2013-1/29(火) 天気(晴れ)

□例会場：ホテルキャッスル

□司会進行(SAA)：伊勢 和正君

□点 鐘：PM12:30 川合 賢助 会長

□ロータリーソング：「山形南 R C の歌」

### 会長挨拶

### — いよいよ国会開幕 —



第183通常国会が開会しました。3年半ぶりに自民党が政権を担い、政策が一変したので特に感があるところです。

デフレや円高等を克服し経済再生をしなければならない。さらに、2度目の厳しい冬を迎えての大震災の復旧復興への取り組み、そして国の外交、防衛安全保障など解決すべき事について議論が繰り広げられることになる。昨年末の総選挙で、遅れていた国家予算も、前年の補正予算案を合わせた15ヶ月予算は、恐らく100兆円を超えることになると思われますが、その財源は国債に

ゆだねられ、2013年度末の発行残高は、約750兆円に膨らむ見通しである。

私は、水膨れした歳出の無駄をカットする歳出改革が後回しされてしまったことは、大変残念なことであり我々の将来の経営、生活に直結する重要な事です。で議論を重ねて提言してまいりたいと思います。

先日、拝聴したオピニオンリーダーである長谷川吉茂山銀頭取の講演では、消費税率のアップで影響ある中でも堅調な日本経済から再生の見通しは明るいだらうと予測されていたような気がする。

皆様方からいろいろなご意見を賜り、参考に供したいと思っています。

### 幹事報告

金田 亮一 幹事

1. 下期の会費納入の期限が31日となっております。まだ、未納の方がおられますので宜しくお願いいたします。
  2. 本日で川合年度も7ヶ月経過いたしました。理事・役員の皆様、そして会員の皆様には、大変ご協力賜り不慣れな私を助けて頂きましてありがとうございました。残りの5ヶ月しっかり気合を入れなおして頑張りますのであらためてクラブ運営にご協力賜りますようお願いいたします。
- 2月は世界理解月間になっておりまして、12日は世界理解フォーラム クール・ジャパン山形版と題して、稲村国際奉仕委員長から出席者、内容をプロデュースしていただき国籍がタイ・ラトビア・ネパール3名の外国人女性をお呼びに行きます。是非多数の参加をお願いしたいと存じます。また、26日は創立記念例会となっております。全会員でお祝いしたいと存じます。宜しくお願いいたします。以上

### ◇2月の記念日◇

会員誕生日 三沢 寛 君・齋藤 源七 君・長谷部成昭 君  
結婚記念日 伊藤 誠 君・中村 篤 君・松田 勝彦 君  
奥様誕生日 日下部功夫 君・鈴木 政康 君・菊川 明 君  
太田 昭一 君・高梨 英吉 君・金井 和義 君  
企業創立記念日 金田 亮一 君・宮舘 順治 君・川合 賢助 君  
太田 昭一 君

### 委員会報告

■ニコニコBOX 伊藤 誠 君

松田 勝彦 君 山形中央高校同窓会長の松田です。甲子園出場が決まりました！ありがとうございます。

川合 賢助 君 本日ゲスト卓話の百瀬先生、新庄市からわざわざありがとうございます。



例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F Tel.023-632-7777 Fax.023-624-5200



# 「地域農業をリードする人材育成について」 ー農業大学校における実践教育を通じてー

山形県立農業大学校長 百瀬 清 昭氏

## ○はじめに

「農業は究極のモノづくり、老舗産業」  
「豊草原の千五百秋の瑞穂の国」の再生  
「食・農ブーム」「六次産業化」  
「農家は多いが、プロの経営者が少ない」

## ○担い手の動向

「増える新規就農者」  
3年連続新規就農者：200名以上  
「説得就農」⇒「納得就農」  
非農家出身と女性の増加：山形ガールズ農場

## ○農業大学校の取り組み

「日本一の学校づくり」  
「ピッチに立つプロサッカー選手の養成」  
「実践教育、全寮制、師弟同行」  
日本で初めての「食の六次産業化を担う人材育成」  
地域連携・貢献活動：「WIN-WINの関係」

※非農家出身者は意欲やアイデアを持っている人もおり、門戸を広げ、競い合う中で、農業界の「孫正義」が現れる。農業はやる気と工夫次第で儲けられる世界。

## ○地域農業と人づくり

「若者の将来になりたい職業ランキングに“農業”が入れるような時代へ」

- ① 産業（農業）づくりの第一歩は人づくり⇒若者は地域の「未来、宝」  
実践的研修でプロ経営者を、長期的視点での支援体制
- ② 「人材を育てて食農を起点とした起業活動」  
三点セット：加工、直売、農家レストラン
- ③ 「若者、中高年、女性など意欲と能力のある人が農業に打ち込める環境を整える」
- ④ 「自分で作った商品に自分で価値をつけ、最終消費者を捕まえる農業ビジネスへ」  
消費者は、「だれが、どこで、どんな方法で作っているか」を見て選ぶ
- ⑤ 「経営を複合化し、六次産業化とビジネス感覚を取り入れる」

## ※宮城大学・大泉一貫副学長：

「日本の農業は弱い？」  
「8兆円、世界第5位の農業大国」「世界最低の輸出国3%」

「かつての百姓＝プロの経営者を育て世界に打って出よ」「小国オランダやデンマークは農業が輸出産業、守ることばかり考え、競争を避けていては日本農業に未来はない」

## ※加賀野菜、京野菜のブランド：

金額＝存在感ではない、埋もれた野菜を掘り起し物語や歴史をつけてブランド化、（雪下野菜、甘・カン野菜、雪ウリイなど）

## ※富山県高岡農協：

「畑でパート、自家菜園で50万円運動」（大分県大山農協参考）

## ※㈱サカタニ農産（富山県南砺市）の経営理念（日本で初めての借地型経営330ha）

必要な人材は自前で育てる。一人前まで10年、20年長い目で見なければならぬ。金の計算や労務管理能力だけではない。組織内の人望、地域の信頼がなくてはリーダーは務まらない。地域との共生が大事。

## ※群馬県甘楽富岡農協：

養蚕の衰退を受け地域農業の再生に挑戦。過去に生産されていた野菜を洗い出し、主婦の他リストラや定年退職した中高年に作付を促すとともに、農産物直売所やインショップなど多様な販売ルート。園芸農家を育て販路を用意「野菜の総合産地」へ転換。農と値域資源をベースに新しい産業興し。

## ○むすびに

「教育とは 流れる水に文字を書くような はかない業である。」

だがそれを 岸壁にノミで文字を刻むような真剣さで 取り組まねばならぬ。」

「眼は広く世界史の流れをとらえながら、しかも足元の紙くずを拾うという実践をおろそかにしてはならない」（元神戸大学教授・森 信三）



## ○本日出席・前回修正出席

出席率100%ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします！

|                          | 会員総数                                                                  | 出席義務会員数 | 出席会員数 | 出席率  |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------|-------|------|
| 本 日                      | 53名                                                                   |         | 36名   |      |
| 前回修正                     | 53名                                                                   | 45名     | 45名   | 100% |
| 他クラブで<br>メイクアップ<br>された会員 | (山形) 寺崎 利彦 阿部 薫 伊勢 和正 鈴木 政康<br>阿部 浩一<br>(山形東) 太田幸一郎 阿部 浩一 金井 和義 木村 政則 |         |       |      |

## 青山治右衛門君 今日のつぶやき

しばらくぶりで  
結構なお話を  
伺いました。  
ロータリーに入って  
良かったなあ……

